

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業者経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊山町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考								
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価											
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	調査結果	満足度			補足	目標①	目標②					
巡回・窓口相談指導事業	小規模零細企業を中心に、経営指導員等が事業所へ訪問し、経営全般について指導をすることにより、経営及び技術の改善を図る。また、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	巡回窓口指導企業数245社（うち非会員25件） 巡回窓口指導延件数751件 課題解決提案数 20件 経営革新承認件数 1件 小規模事業者持続化補助金申請支援28件 県商工会連合会他各種専門家派遣利用件数 24社 46回	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 150.2 %)	751	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)	20	20	小規模事業者の相談相手として、企業の体質改善支援及び各種融資普及を図ることができた。また県連合会の各種専門家派遣制の利用を事業者へ積極的に勧めた。課題解決に繋げた。本年度は新型コロナウイルス感染症や各種補助金、給付金等の影響で、相談件数が大幅に増えた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	事業者への 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	各専門家を派遣を利用することにより、事業所の経営力向上と同時に職員の高質向上にも繋がるので、積極的に利用し事業所の課題解決に繋げる。	○	
記帳継続指導	個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と、決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	・指導対象者数74人 ・指導延日数379日 ・指導延回数913回	豊山町内個人事業主	指標	記帳指導事業者数 (達成度 98.7 %)	74	指標	(達成度 %)			本年も記帳継続指導を通して、正しい税務知識を修得してもらうとともに、税務相談を通して昨今の経済情勢における企業の納税意識の向上も図ることができた。新規の記帳対象者やいざ自己記帳を希望する者へは、内容の理解を深められるよう指導を心掛けた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	事業者への 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	青色申告特別控除(65万円)に伴い大幅に増加したe-taxの対応は次年度はよりスムーズに行えるようにする。安定した指導を続けられるよう、職員が協力しながら遂行し、次年度の目標は1件増を目指す。		
講習会	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての知識を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講予定者数 個別 12回 151人	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 94.4 %)	151	指標	(達成度 %)			小規模事業者の経営に必要な知識の習得、資質の向上に資することができた。本年よりe-taxによる税務申告に対応するため、また期中に税理士の指導を受けられるよう個別指導日を増やした。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	事業者への 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	以前は決算相談を個別で職員が対応していたが、本年は講習会での税理士から指導を受けることを勧めることにより、受講者が増えた。一方、次年度の計画には経営セミナー及び経営革新セミナー等が含まない為、目標数値は下げる。	○	
若手後継者育成事業	若手経営者資質向上対策事業青年部員の事業所は事業承継が進み販路開拓に積極的である。しかし、多額の広告宣伝費をつぎ込むことは困難であるため、テレビや新聞などのマスコミを活用することで、その課題を解決する必要がある。そこで、業団セミナーと個別相談会を開催し、事業所が継続的にプレスリリースを行えるように支援すると共にスムーズな商談ができるような会社案内、取引条件資料の作成も支援することで、売上の向上と新たな事業に取り組む意欲の向上を図る。	令和2年6月25日 プレスリリースセミナー 受講者数12名(12事業所) 令和2年7月16日 プレスリリース個別相談会 受講者数5名(5事業所) 令和2年7月30日 プレスリリース個別相談会 受講者数4名(4事業所) 商工会青年部全国大会 新型コロナウイルス感染拡大のため、中止 商工会青年部全国大会 商工会青年部全国大会に参加し、各都道府県の活動や部員としての活動発表を聞くなどによって先進的な事例を学び、全国の若手経営者との交流を図って相互に研鑽することにより、意欲の高揚や資質向上を図る。	青年部員 女性部員 及びそのOB	指標	勉強会・講習会受講者数 (達成度 140.0 %)	21	指標	(達成度 %)			これまで多くの事業所にとってマスコミ取材は「待ち」の姿勢であったが、自らプレスリリースをして取材陣を呼ぶことができることを知った参加者にとって良い機会となった。 販路開拓に貢献した。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	事業者への 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	事業実施により得られる効果が高いため、販路開拓にかかる若手経営者の資質向上を図るよう、継続して実施したい。一昨年から続きう度目の開催なので、集団への参加者数は減少する見込みだが、受講者からは好評なため、より広く参加を促したい。また、個別での受講者により深い内容での支援を行う。		
地域産業祭事業	豊山町住民に地域産業を紹介するとともに、ふれあいの場を設けて商工会活動の理解を深め、もって産業の発展と振興に寄与することを目的とする。	コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	豊山町民	指標	出店者事業所数 (達成度 %)	-	指標	(達成度 %)					総合評価	-	事業実施評価	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果	事業者への 満足度 - 必要性 -	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	本年度は中止となり、次年度も例年と同様の開催ができるのかかわからないが、現時点では例年通りの計画をする。	○
地域総合振興事業	各種お祭・行事等に協賛することにより、その場をきっかけに地域の経済活動を促進し地域の産業や商工会PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。昨年から行っているわくわくウォーキングは、町内をウォーキングで回ることにより、町民の健康増進を図るとともに、町内の商工業者等を紹介し、町の活性化と町内商工業者の振興を図ることを目的とする。また、メッセコヤ視察は事業に役立つ最新の技術やサービスを知る機会を得るために開催する。	出前朝市イベント出店 3回 一コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 福祉フェス・環境フェス・航空祭等 一コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 わくわくウォーキング 一コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	豊山町民 会員事業所	指標	朝市出店者数 (達成度 %)	-	指標	わくわくウォーキング参加者数 (達成度 %)	300	-			総合評価	-	事業実施評価	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果	事業者への 満足度 - 必要性 -	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 廃止 実施方法② 廃止	朝市は他のイベントで出店するが、本年のコロナの影響で次年度の開催方法を検討している主催者もいるため、希望通りの出店枠が確保できない可能性があるため目標を下げた。わくわくウォーキングについては、一日だけだったので、より参加者が増えるよう実施期間を伸ばしたスタンラリーに変更する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊山町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価					
				指標	数値	実績	指標	数値	実績	総合評価	実施評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の継続的な安定を図るために、各種共済制度を普及し企業の健全な育成に資することを目的とする。	特定退職金共済 134口 中小企業共済 124口 経営者年金 21口 商工会業災共済 10件 ビジネス総合保険 8件 PL保険 1件 商工会福祉共済 1件 団体自動車共済 11件 突如火災共済 12件 自動車事故共済 4件 合計326件	中小・小規模事業者	各種共済加入口数 (達成度 85.8%)	380	実績数値	326	目標数値	実績数値	各共済とも、全会員宛発送文書のある際パンフレットを同封したり、会議や講習の際に説明をするなど周知することができた。 中小企業共済については県連の推進モデル商工会に立候補し、共済担当者と巡回し制度説明に回り加入者が増加した。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 実施方法② 現行どおり	本年、県連の中小企業共済推進モデル商工会になり、職員の共済への理解が深まったので、継続して推進する。複数口加入の特定退職金共済加入事業所が拡大したため、目標を回ってしまっただけで、次年度は目標を下げる。	
健康普及事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の継続的な安定を図るために、従業員の健康診断事業を実施し、企業の健全な育成に資することを目的とする。 また、保健センターと協力し、町内事業所従業員の健康相談も併せて行う。	コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	会員事業主及び従業員	受診者数 (達成度 %)	150	実績数値	-	目標数値	実績数値		総合評価	-	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 満足度 - 必要性 -	補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし	目標① 下げる 実施方法① 実施方法② 変更する	本年はコロナ感染症の影響により、開催できなかったが、受診機関と打ち合わせを兼ね、事業所の利便性を考え、集団ではなく個別での対応を可能にしようとした。そのため、コロナが収束しない場合、集団での受診者が減ることが考えられるため目標を下げた。	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	事業所数 63企業 従業員数 115人	中小商工業者	委託事業所数 (達成度 105.0%)	60	実績数値	63	目標数値	実績数値	労働保険加入による、従業員雇用安定を充実させることができた。 また、事業主の事務負担を軽減し労働保険の適用促進を図ることができた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 実施方法② 現行どおり	労働保険の加入の必要性をPRし、従業員の福利厚生の充実を図っていく。	
税務関係団体指導事業	法人会の税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、商工業の活性化に資することを目的とする。	通常総会 →コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 PR及び新規加入勧奨活動 →コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 講演会、研修会・質問交換会 →コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	豊山町内法人企業	会員数 (達成度 %)	160	実績数値	-	目標数値	実績数値		総合評価	-	自己評価 - 目標達成度 -	調査結果 満足度 - 必要性 -	補足 新型コロナウイルス感染症による中止のため評価なし	目標① 現行どおり 実施方法① 実施方法② 現行どおり	事業所の廃業に伴い、会員数も減少しているため、目標を下げる。また、グループと協力し、事業の充実を図る。	
商店街振興事業	豊山町の消費者等への交通や防犯の安全及び美化を目的として、設置している街路灯の維持管理をする。	街路灯設置数76件	街路灯設置小規模事業者	街路灯設置数 (達成度 98.7%)	77	実績数値	76	目標数値	実績数値	街路灯を設置することにより町内の防犯に貢献することができた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 実施方法② 現行どおり	事業所の廃業、移転に伴う廃灯の相談があるため、目標を下げる。新規設置が増えるよう周知に努める。	
青年部・女性部事業	会議・行事・事業での青年部・女性部員間の交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	青年部 会議 4回 16人 交流事業、振興事業 →コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 その他 5回 6人 青年部合計9回22人平均2.4人 女性部 会議 3回 42人 交流事業 2回 2人 主催事業1回12人 女性部合計6回56人平均9.3人	青年部員 女性部員 及びそのOB	青年部事業への平均参加人数 (達成度 60.0%)	4	実績数値	2.4	目標数値	10	9.3	女性部事業への平均参加人数 (達成度 93.0%)	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 実施方法② 現行どおり	青年部は部員の減少が著しいため、青年部員増強を重点的に取り組んだが、思うように進んでいない。部員数に合わせた目標を下げるが、継続して部員増強に努めたい。 また女性部については高齢化が進んでいるので若い世代の加入を増やすため、事業の見直しを検討する。
部会・委員会事業	各種事業・行事・会議において商業・工業部会との交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。また、その目的のために委員会を開催する。	商業部 会議 1回 7人 総代会 1回 16人 工業部 総代会 1回 但し、書面議決 幹事会 1回 5人 合計 12回 142人 平均7.7人	小規模事業者	資格取得等助成金制度利用者数 (達成度 0.0%)	6	実績数値	0	目標数値	実績数値	コロナウイルス感染症の影響により、計画通りの事業を実施することができなかった。 各種技能研修や資格取得試験も中止になったものもあった。	総合評価	B	自己評価 A 目標達成度 D	調査結果 満足度 A 必要性 A	補足 新型コロナウイルスの影響により目標達成に至らなかった	目標① 現行どおり 実施方法① 実施方法② 現行どおり	本年初めての事業だったが、コロナ感染症の影響により、実績数がなかった。事業所が広く利用できる制度なので、まずは制度周知を進める。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。